

看護学生のための情報誌

# ★きらい★ ★看学生★



2016年8.9月号

発行☆兵庫県民主医療機関連合会看護学生委員会  
〒650-0047 神戸市中央区港島南町5丁目3-7  
Tel : 078-303-7351 Fax : 078-303-7353  
E-mail:kangakusei@hyogo-min.com

兵庫民医連看護奨学生交流会を開催  
患者さんの生活背景に光をあてて、しっかり学習！



## Contents

P2-3 看護の現場より

P4-5 看護介護活動交流集会報告

P6 ナースのおすすめ

P7 ほっと Station

P8 県連看護奨学生交流会報告



# あたたかい下町の緩和ケア病棟

神戸協同病院 緩和ケア病棟

看護師 福山利恵

看護学生のみなさん、はじめまして！

神戸協同病院では、昨年6月に緩和ケア病棟が開設されました。

医療生協ならではの緩和ケア病棟にしていこう！と現在も奮闘中です♪



## 緩和ケアとは

緩和ケアは、WHOにより以下のように定義されています。

緩和ケアとは、生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者と家族の痛み、その他の身体的、心理社会的、スピリチュアルな問題を早期に同定し、適切に評価し対応することを通して、苦痛を予防し緩和することにより、患者と家族の Quality of Life(QOL：生活の質)を改善する取り組みである。

WHOの緩和ケアの定義の続きには、具体的な実践を次の9項目としてまとめています。

- ①痛みやその他の苦痛な症状の緩和を行う
- ②生命を尊重し、死を自然なものと認める
- ③死を早めたり、引き延ばしたりしない
- ④心理的、スピリチュアルなケアを通常の医療、ケアに統合する
- ⑤死を迎えるまで、患者が人生をできる限り積極的に生きてゆけるような支援を行う体制をとる
- ⑥家族が、患者の病気や死別後の生活に適應できるような支援を行う体制をとる
- ⑦患者と家族のニーズに対応するために、チームアプローチを実践する
- ⑧QOLの向上を図り、病気の経過により影響を与える
- ⑨病気の初期段階から、化学療法、放射線療法などの延命を目指すその他の治療と協働して行われ、治療や検査に伴う苦痛な合併症のマネジメントを包含する



## 神戸協同病院の緩和ケア

経験5年以上の看護師が集まり、それぞれの知識・経験を生かして日々の看護にあたっています。医師・看護師・臨床心理士・薬剤科・栄養科・リハビリ科とチームで患者様の対応をしています。入院時はもちろん、毎日のちょっとした会話の中から、患者様やご家族の思いを知り、少しでも希望がかなうよう、私たちに何ができるかを毎日のカンファレンスで話し合っています。

カンファレンスでは、多職種で患者様の現状から今はどのような状態かを把握し、必要な薬の使用や対応についても話し合っています。痛みだけでなく、その他の苦痛に対する対応もしています。







## 患者さんとともに

焼き肉が  
食べたい!

ご家族の協力を得て、キッチンで焼き肉  
パーティーをしました!



患者様のみ飲酒が許可され  
ています☆栄養科にも協力  
してもらい、おつまみなど  
も作ってもらいました♪

ビールが  
飲みたい!

毎日、ボランティアさんが  
バルコニーで花を育ててく  
れています。



3時には、ボランティア  
さん手作りおやつが配ら  
れ、患者さんたちは、ホッ  
としたひと時を過ごしてい  
ます。



## 大切な時間をその人らしく

緩和ケア病棟では痛みのコントロールができ、元気に退院される方もおられますが、やはり最期の時を迎える方が大半です。私たちは、大切な最期の時間をその人らしく過ごしていただき、ご家族も満足できるよう、日々看護にあたっています。

「ここに来てよかった」と言う患者様の声や、「ここで最期を迎えることができまして私たちもよかったです」と言うご家族の声を聞くたび、スタッフみんなが嬉しい気持ちになります。患者様、ご家族の声が私たちに向上心を与えてくれます。

毎日悩みながらもスタッフみんな意見を出し合い、神戸協同病院らしい緩和ケア病棟、“あたたかい下町の緩和ケア病棟”をつくりあげている真っ最中です!

神戸協同病院の緩和ケアのホームページもぜひのぞいて下さいね♪  
緩和ケア Dr ブログも人気配信中です!!

神戸協同病院 緩和



ペットに  
会いたい!

ペット面会の時間を設けていて、  
その日時に合わせて来てもらい  
ました☆

もう一度  
座って

外に出たい☆

リハビリ科が中心となって  
リクライニング車椅子への  
移動訓練を続け、ご家族と  
外出しました!



リラクゼーション目的  
にリハビリスタッフも  
関わります。

その他、地域の方の協力を得てミニコン  
サートを開いたり、行事では医師が鬼や  
サンタに扮して各部屋をまわったり…!  
どのときも、患者様、ご家族の笑顔は格  
別なものです!!

## 2016年看護介護活動交流集会に参加して

神戸協同病院 井上朋美・橋本陽子

2016年7月2日 「地域包括ケアの到達と課題～民医連がめざすもの～」をテーマに、看護介護活動交流集会（兵庫民医連看護教育委員会主催）が開催されました。その内容をここに報告します。

### ① 「地域包括ケアシステム」とは？

看護学生のみなさんは、「地域包括ケアシステム」を知っていますか？

団塊の世代が75歳以上となる2025年にむけた対策として、厚生労働省が「地域包括ケアシステム」の構築をにかけています。「地域包括ケアシステム」をすすめる目的は、高齢化社会が一層すすむなかで、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシステムの構築とされています。



#### 【団塊の世代】

1947年～1949年ごろの、第一次ベビーブームが起きた時期に生まれた世代で、第一次ベビーブーム世代とも呼ばれる。ちょうど今、69歳～67歳の世代の方にあたります。

### ② 現状は…、民医連がめざすものは？

藤原みゆき講師（元神戸健康共和会看護師長）のメイン講義では、厚生労働省が提案する地域包括ケアシステムの現状と課題の説明がおこなわれました。

厚生労働省は、システムの構築に向けて、「自己責任・自助・互助を中心とした自立支援」が理念で、介護保険の重点化・効率化を目標にしています。そして、「入院から在宅へ」「医療から介護へ」「介護から市場・ボランティアへ」という考え方が中心となっています。しかし高齢者の生活実態は、独居世帯や高齢者夫婦が圧倒的に多く、また近所との交流のない高齢者もたくさんおられ、自助(自分の努力)と互助(助け合い)で、安全な生活が成り立つのか？など多くの疑問がでてきます。



私たち民医連は、公的な責任による、医療介護・保健・福祉が切れ目なく提供（保障）される体制づくりが必要で、その体制のなかで、医療機関や介護施設、地域の住民が協力し、「誰もが安心して暮らし続けられるまちづくり」をすすめていくことが大切だと考えています。

### ③民医連の病院・診療所、介護施設、地域の組合員がすすめている「誰もが健康で安心して暮らし続けられるまちづくり」にむけての活動の紹介（シンポジストの講演）

メイン講義のあと、数名のシンポジストによるそれぞれの事業所の看護・介護活動地域での活動報告がありました。

その中のひとつに、定期巡回サービスの紹介がありました。排泄介助が必要な利用者の場合、訪問介護を1日1回60分間続けて実施するのではなく、朝・昼・夕と分割して1日3回訪問し合計60分間の介護を提供する内容です。排泄の援助が、毎日1回しか提供できないのと、1日3回提供できるのとでは、どちらが利用者のニーズに合っていると思いますか？他にも、認知症があり徘徊してしまうため、施設への入所を余儀なくされた方の事例報告がありました。



#### 【トリオセッション】

シンポジスト講演の後は、各テーブルで簡単に話し合うトリオセッションを行い、シンポジストとのディスカッションがありました。私のテーブルのトリオセッションでは、認知症をかかえながらも、住み慣れた家で暮らし続けるためのまちづくりについて、考える良い機会になりました。

### ～地域包括ケア病床の紹介～



私たちの所属する神戸協同病院4階病棟には、地域包括ケア病床が14床あります。現在高齢者の割合が国民の4人に1人という高齢化社会を迎えています。地域包括病床では、急性期の治療を終え、病状が安定した患者様が、可能な限り住み慣れた家、住み慣れた地域で自分らしい生活を安心して送ることができるよう在宅支援＝在宅をまるごと支える支援を、他職種と連携し実践しています。また、在宅療養中の方の受け入れも行い、安心して在宅療養が望めるよう他職種とカンファレンスを行い、必要なりハビリや在宅調整を行っています。地域包括ケア病棟（病床）は、超高齢化社会のなかで、地域の患者を支えるためには、必要不可欠であると考えています。





# ナースのおすすめ

実習や国家試験対策に  
おすすめ読本

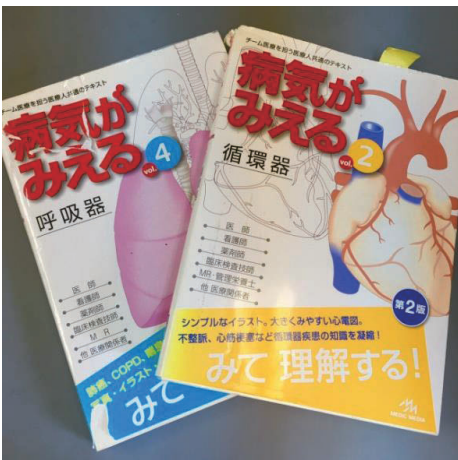


今年 2 月より、外科混合から内科病棟へ異動、看護師 4 年目になります。

東神戸病院 内科病棟  
看護師 荻野 真美

## 『病気がみえる』シリーズ

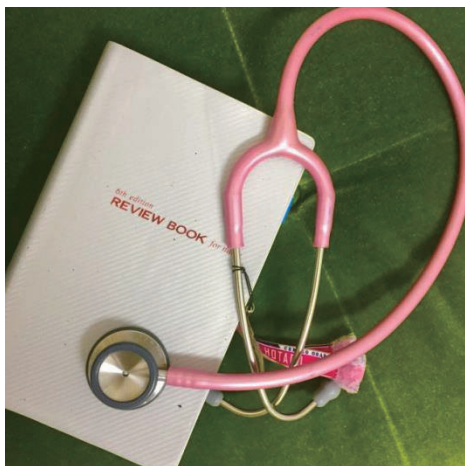
「病気がみえる」シリーズは、科別に 1 冊ずつ分かれていて、代表的な疾患や解剖生理なども載っているので実習などでとてもわかりやすく学校の図書館で何度も借りました。実習の前にはグループのメンバーで疾患を勉強してみんなで共有していましたよ！



## 『レビューブック』

「レビューブック」は実習から国家試験に向けての勉強に役立ちますよ！過去 10 回の国家試験で問われている内容は青字で書いてあり、特に重要な語句は赤字で書いてあります。

「レビューブック」のよいところは自分の本を作れるということです！余白に自分がわかりやすいように解説を書いたり、授業で配られたプリントを貼ったりして、「レビューブック」を見れば大体のことが分かるように地道に作り上げていきます。電車や休み時間にちらっと見たりして、これを実習中からしていると国家試験の時に、頭に入りやすくなります。



この2つとまずは教科書にかえて基礎や根拠を押さえておくことが大事になりますよ！

ちなみに余談ですが、グループ内でしっかりコミュニケーションを取って実習することが大切です。

みんなで楽しく実習を乗り切って、国家試験に備えましょう！



# ほっと Station☆

朝晩は涼しくなり、日ごとに秋らしくなってきましたね。

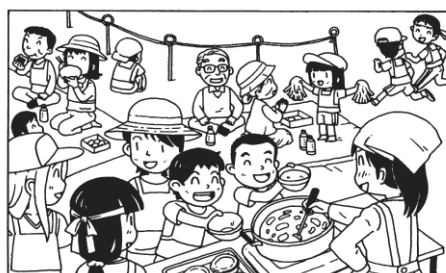
日中はもうしばらく暑い日が続きますので、体調管理に気をつけてくださいね。



正解者から抽選で5名の方に図書カードをプレゼントします。(返信ハガキをご利用くださいね)

## 6・7月号クイズの答え

1. 左端・犬の耳
2. 左側・女の子のポニーテール
3. 中央・男の子の帽子
4. つぼの模様
5. 柱とすだれの位置
6. 猫のしっぽ
7. 右端・女性の襟元



## 7つのマチガイ

【問題】上の絵と下の絵では7つのマチガイがあります！どこでしょう？(作・野上和彦)



## 読者のつづやき

シリーズ☆看護の現場はいつも考えることが多く、とても参考になります。実習も残り二日、がんばるぞー！(笑)  
ペンネーム (Nsは超人)



いつも楽しみにしています！  
みんなも頑張ってるので私も前向きに頑張ります♡  
ペンネーム (ゆりすけ)

カラー印刷で写真も多く読み易いです。新人の声も個別に入っていると役立ちそうです。  
ペンネーム (アキヨ)

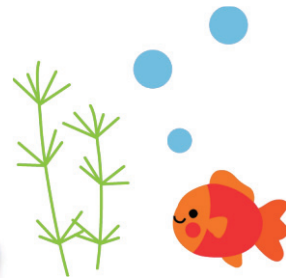
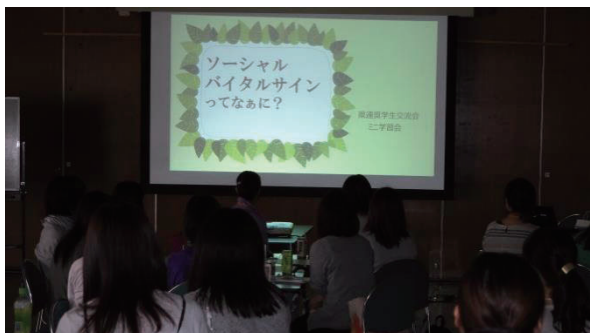


# 県連看護奨学生交流会 報告

兵庫民医連では年1回、4病院合同の奨学生交流会を開催しています。  
今年は6月4日（土）新長田勤労市民センターにて、24名の奨学生が参加し、職員と共に学習と交流を行った様子をご紹介します。

交流会の内容は、

- ①民医連の看護を学ぶ ②法人内・県連の先輩、奨学生同志の交流を図ることを目的に
- ・アイスブレイクからはじまり
  - ・ソーシャルバイタルサインについてのミニ学習会
  - ・看護学生委員会の特徴的な取り組み発表
  - ・『この夏、ぜひ取り組みたいこと』をグループで話し合い、発表してもらいました。



## ミニ学習会の感想

- ・ソーシャルバイタルサインという言葉は初めて聞きました。
- ・人が人らしく生きるという大きな意味があると思いました。
- ・お金の有無が健康状態に影響すると知りました。
- ・ソーシャルバイタルサインとは、患者様の背景まで見ることだ。 etc……

## グループワークの感想

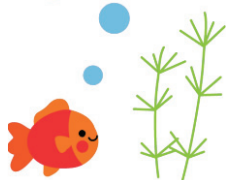
- ・色々な学校の話が聞けるのは楽しい。
- ・学習状況や取り組み方を知ることができ、自分を見直す機会となった。
- ・自分のモチベーションを上げられる機会となった。
- ・様々な学校の情報交換、悩みを知れて良かった。
- ・現役看護師の話聞いて、看護の奥深さを感じました。 etc……

## この夏ぜひ取り組みたいこと

- ・リフレッシュを兼ねて、旅行。
- ・解剖生理学を完璧にしたい。
- ・ナーシングセミナーに参加する。
- ・国試対策！
- ・社会について知るために、本を読む。
- ・休み明けのテストに向け、点数を採る勉強ではなく、身につく勉強をしたい。 etc……



ソーシャルバイタルサイン = 人間らしく生活している証



皆さん、有意義な夏休みにして下さいね!!